

今月の古河っ子

いい子が育つ古河



小野旭陽 くん
(令和5年7月生まれ)

アンパンマン大好き☆これから楽しく過ごそうね♪



山口芽依 ちゃん
(令和6年5月生まれ)

生まれてきてくれてありがとう！ 元気に育ってね！



山口笑里 ちゃん
(令和3年9月生まれ)

夢は歌のおねえさん♪笑顔あふれる毎日にしようね！



安達咲葵 ちゃん(左)
(令和6年8月生まれ)

これからも兄妹仲良く、楽しく過ごしていこうね♡



増尾碧斗 くん
(令和6年3月生まれ)

誕生日おめでとう。たくさん食べて大きくなってね！



齋藤ひまわり ちゃん
(令和6年6月生まれ)

いっぱい遊んでいっぱい食べて元気に育ってね！

お子さんの写真を募集中！＜対象＞0～3歳の市内在住のお子さん ＜応募方法＞メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください♪



夢と希望を与えられる サッカー選手に

関芳智さん 仁連小学校6年生

僕がサッカー選手になりたいと思ったのは「上田綺世選手」のスーパープレー集を見たことがきっかけです。上田選手のプレーはとても格好良く、一瞬にして憧れました。そして「僕も世界で活躍できるすごい選手になりたい」と思いました。僕は今、サッカーを習っていて、試合に負けて悔しい時もあります。そんな時は、上田選手のプレーを思い出して頑張って練習しています。これからも努力を続け、憧れの上田選手のように色々な人に夢と希望を与えるサッカー選手になりたいと思います。



わたしの夢



キラリ
古河ビット

伝統文化を後世につなぐ

令和6年度地域文化功労者表彰を受ける
古河市三和郷土芸能保存会の皆さん

県指定無形民俗文化財「三和祇園ばやし」の保存・継承に努めている古河市三和郷土芸能保存会。昭和53年に設立され、現在は知久秀夫会長の下、170人の会員で活動を行っています。

三和祇園ばやしは、五穀豊穡や疫病退散などを祈願して江戸時代から奉納されてきた市の伝統芸能。太鼓や鼓・笛などで合奏し、地域の祭礼以外にもさんさんまつりをはじめ、市内外のイベントに出演するなど幅広く活動しています。そうした長年の活動が評価され、昨年11月には文部科学大臣から「令和6年度地域文化功労者表彰」を受けました。ある会員は「先人たちが受け継いできたお囃子を通じて多くの人のつながりができた。その積み重ねが表彰に結実したのでは」と喜びます。

その一方で、会員の高齢化や後継者不足という課題を抱えています。そのため、子ども会などと連携して小学生への指導等に取り組んでいるとのこと。また、今後は地元の小・中学校にも協力を依頼し、三和祇園ばやしの素晴らしさを若い世代へアピールしていくそうです。

「今回の受賞をきっかけに子どもたちが地域の伝統文化に触れ、親しむ機会を生み出せば」と知久会長は熱いまなざしで語ってくれました。



▲昨年の古河市民文化祭の様子



▲子どもたちに受け継いでいきます



▲市長へ表敬訪問(中央が知久会長)